

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部	福祉部	課	障害福祉課
---	-----	---	-------

施設名称	〔32〕 東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千束					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東つばさ福祉会		指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31		
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	障害者福祉施設（生活介護1、身体障害者生活ホーム1、知的障害者グループホーム7、就労移行支援1）の運営、就労支援事業、障害児放課後対策事業					
(2)類似施設の管理実績	同上					
(3)経営状況	[社会福祉法人会計]歳入 341,004,118円 歳出 340,857,786円 収支差額 146,332円 [公益事業特別会計]歳入 66,993,820円 歳出 66,993,820円 収支差額 0円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区千束3-28-13 千束保健福祉センター2階					
(2)設置目的	心身障害者の福祉の増進を図り、地域社会での自立生活を促進するため					
(3)利用者	台東区内に住所を有する身体障害者					
(4)開館日・時間	通年・24時間					
(5)規模	千束保健福祉センター内 RC造 地上7階地下2階のうち2階 延6,733.87㎡のうち2階765.53㎡ 居室11、介護人室2、食堂、浴室、洗濯室、トイレ					
(6)人員体制	12名 【内訳】施設長1（兼務）、生活支援員 常勤7非常勤4					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	入居事業 自立生活体験事業 一定期間（1か月間単位）の入居生活を体験してもらう事業					
(2)自主事業	「フロム千束」の隣に居住する一人暮らしの在宅障害者に、入浴、食事等のサービスを提供					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	35,180,000	39,168,000	41,202,000	10,843,000	56,972,000
	料金収入等	2,253,000	2,253,000	2,253,000	420,000	4,005,000
	管理経費	37,433,000	41,421,000	43,455,000	11,263,000	60,977,000
決算	委託料	33,493,162	35,200,511	40,099,197	10,843,000	53,153,225
	料金収入等	2,421,429	2,362,316	2,418,800	452,000	3,075,420
	管理経費	35,914,591	37,562,827	42,517,997	11,295,000	56,228,645
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	
年間開所日数	日	365	365	91	365	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 (25年度)	21年度	22年度	23年度	
年間延月単位利用者数	人	132	84	15	132	
稼働率	%	100.0	100.0	71.0	100.0	

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

平成23年度より、利用者数を7名から11名に増員し、改修後の施設で運営してきた。新規の利用者を4名受け入れ、利用者の実態、要望の把握に努め、適切にサービスを提供している。
前年、懸案であった医療的ケア（社会福祉士及び介護福祉法の改正により認められた介護職員によるたんの吸引等）の実施については、介護職員の「喀痰吸引等研修」の環境が整っておらず、未受講となっている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [1.9]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [1]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	B	入居事業(定住)及び体験入居の稼働率は100%であり、概ね良好に行われている。しかしながら、自主事業の自立生活援助事業の相談・食事が0件であり、自立生活支援の方法など検討する必要がある。
(2)施設の維持管理	A	施設の維持管理については、日常の清掃や設備点検を的確に実施するとともに、備品・物品の管理を備品台帳で適正に管理し、状況に変化が生じた場合には、区に報告する体制がとられており、概ね適切になされている。
(3)利用者の満足度	A	利用者とのミーティングを定期的に行い、要望等を聞く機会を設けている。また第三者委員の視察の際に、第三者委員を利用者に紹介するなど、利用者の声を施設運営に反映させる仕組みづくりに努めている。
(4)歳入歳出	A	概ね良好であるが、今後はさらに歳入確保と経費の削減に努め、効率的な運営を目指す。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

要努力

平成23年度に新規の利用者受け入れ後も、安定した施設の運営を行っている。利用者本位のサービスを提供し、関係団体とも連絡を取りながら、地域福祉の担い手となっている。今後は自立生活援助事業の内容について工夫を行い、更なるサービスの向上に努める必要がある。

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

介護職員が医療的ケアを行えるよう、介護職員の「喀痰吸引等研修」の整備が整い次第、受講に努め、更なる改善を図っていく。
また、自主事業の相談・食事が、利用者の自立生活を継続できる環境を整え、利用件数の増加を図っていく。